

ボナンタゴン

アピカホールから
あなたに

Vol.93

2019.7月-9月



©Mana Miki

7/20 (土)

第143回 しばざくらコンサート
「清水和音ピアノ
リサイタル」



7/21 (日)

第144回 しばざくらコンサート
「堀米ゆず子ヴァイオリン
リサイタル」

音楽の話・輪・和・W a
本物の音楽を

■寄稿 宮本 克江

新おんがく談義

■寄稿 堀米ゆず子

七月二十一日開催

第144回 しばざくらコンサート
堀米ゆず子
ヴァイオリン
リサイタル

■寄稿 清水 和音

第143回 しばざくらコンサート
清水和音ピアノリサイタル
七月二十日開催

西脇市立音楽ホール

Apika
アピカホール

7月20日(土) 14時開演(13時30分開場)

第143回しばざくらコンサート

清水和音 ピアノリサイタル

～ショパンの調べを和音さんのお話と共に～

ピアノ 清水和音

出演させていただく「しばざくらコンサート」では、＜オール・ショパン・プログラム＞として有名な曲を中心に演奏します。西脇市、アピカホールには初めて行きます。初めてのホールでのコンサートはいつも緊張しますね。今回も西脇市までせっかく行くのだから、聴いてくださる皆さんの記憶に残る演奏ができると嬉しいです。では、アピカホールで7月20日にお会いしましょう。

清水和音

●プログラム

即興曲 第1番 変イ長調 op.29

即興曲 第2番 嬰へ長調 op.36

即興曲 第3番 変ト長調 op.51

夜想曲 第4番 へ長調 op.15-1

夜想曲 第5番 嬰へ長調 op.15-2

ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調 op.35「葬送」

バラード 第1番 ト短調 op.23

夜想曲 第13番 ハ短調 op.48-1

夜想曲 第14番 嬰へ短調 op.48-2

3つのマズルカ op.59

ポロネーズ 第6番 変イ長調 op.53「英雄」



プロフィール profile

清水和音 (ピアノ)
(しみず かずね)

Kazune Shimizu, piano

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。

ジュネーヴ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。1982年、デビュー・リサイタルを開き、高い評価を得た。1983年、第9回日本ショパン協会賞を受賞。同年「プラハの春音楽祭」にて、プラハ室内管

と共演。この成功により1984年、ブラティスラヴァ音楽祭のオープニングでスロヴァキア・フィルのソリストとして招待された。また同年、ミュンヘンのヘラクレス・ザールでデビュー・リサイタルを行った。ロジェストヴェンスキー指揮ロンドン交響楽団、ジャンンドレア・ノセダ指揮キーロフ歌劇場フィルハーモニー管弦楽団、ゲルギエフ指揮マリインスキー歌劇場管弦楽団、アシュケナージ指揮シドニー交響楽団などと共演を重ね、国内外で広く活躍。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。

1995年秋から2年にわたって行われた、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲演奏会は、その完成度を新聞紙上で高く評価され、ライブ録音が発行されている。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛されている。

2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とパガニーニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。2014年から2018年の5年間では春秋・年2回のリサイタル・シリーズ「清水和音 ピアノ主義」を開催。スカララッティとバッハに始まり、古典派からロマン派を中心に20世紀のピアノ曲まで、幅広いレパートリーで聴衆を魅了した。デビュー35周年を迎えた2016年5月には、バットイストロニの指揮で、ブラームスのピアノ協奏曲第1番及び第2番を熱演。同年4月からは、年6回の室内楽シリーズ「芸劇ブランチコンサート」を開始するなど精力的な活動を続けている。桐朋学園大学・大学院 教授

7月21日(日) 14時開演(13時30分開場)

第144回しばざくらコンサート

『堀米ゆず子ヴァイオリン・リサイタル』

ヴァイオリン 堀米ゆず子

西脇演奏会に寄せて

昨年4人ヴァイオリンの演奏会で弾かせていただきすっかり西脇のみなさんとまたアピカホールの素晴らしい響きに魅了されました。

今年はリサイタルでまた夏にお邪魔いたします。

演奏する曲目はどれも名曲ばかりです。

モーツァルトのピアノとヴァイオリンのソナタはその名が示すようにピアノが大活躍します。中井友紀子さんとの共演が楽しみです。続くバッハのソロソナタは私達ヴァイオリニストにとっての聖書のようなもの。これを原点に、そしてここにいつも帰ってきます。

後半は小品を中心にヴァイオリンの魅力を聞いていただけたらと思います。

ショーソンはベルギーの作曲家でもあります。ブラームスのような深いハーモニー展開とフランス風エスプリが聞いて絶品です。そしてオーストリアのクライスラー、フランスのサンサーンス・・・

どうぞ最後までヴァイオリンとピアノの夜音楽の旅、お付き合いください。

お会いできることを楽しみにしております。

2019年6月ブリュッセルにて
堀米ゆず子

第144回 しばざくらコンサート

堀米ゆず子 ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ：中井友紀子

7月21日(日) 14時開演(13時30分開場)

プログラム

モーツァルト：ヴァイオリンソナタ 第34番 変ロ長調 K.378
J.S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第1番 ト短調 BWV1001

* * *

ショーソン：詩曲 Op.25
クライスラー：愛の悲しみ、愛の喜び、美しきロスマリン
サン=サーンス：ハバネラ Op.83
サン=サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ Op.28



プロフィール

堀米ゆず子 (ヴァイオリン)

5歳からヴァイオリンを久保田良作氏のもとで始め、1975年より江藤俊哉氏に師事。1980年桐朋学園大学卒業。同年エリーザベト王妃国際音楽コンクールで日本人初の優勝を飾る。以来ベルリン・フィル、ロンドン響、シカゴ響、クラウディオ・アバド、小澤征爾、サイモン・ラトルなど世界一流のオーケストラ、指揮者との共演を重ねている。

世界中の音楽祭に数多く招かれ、の中にはアメリカのマールボロ音楽祭、クレメールの主宰するロッケンハウス音楽祭、ルガーノアルゲリッチ音楽祭(スイス)、フランダース音楽祭(ベルギー)などがある。室内楽にも熱心に取り組んでおり、これまでにルドルフ・ゼルキン、アルゲリッチ、ルイサダ、クレメール、マイスキー、今井信子、メネセス、ナイディックなどと共演している。2013年からイタリアのカメラータピチュナに於いて、2014年からはイギリスのケンブリッジに於いてマスタークラスを2017年まで

開催した。2018年からはフランスのエクスプロヴァンスでマスタークラスを開催している。

日本では、「モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ選集」「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏」「J.S.バッハ/ブラームスプロジェクト全6回」など多くのプロジェクトに取り組む。2016年秋には、シェレンベルガー指揮カメラータ・ザルツブルクとモーツァルトのヴァイオリン協奏曲全曲演奏会を東京で開催し、絶賛を浴びる。また、2011年東日本大震災に対し、微力ながら手助けになる事を願って、毎年ブリュッセルに於いて「復興コンサート」を行なっている。

レコーディング活動も活発で、オクタヴィア・レコードより「J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ全曲集」に続き、最新版となる「ブルッフ&ブラームス」(協奏曲)を2017年1月にリリース。その他には、ニース響とのラロ：ヴァイオリン協奏曲集、シャンドール・ヴェーグ指揮カメラータ・ザルツブルクとのモーツァルト：ヴァイオリン協奏曲集、ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ集などがある。

多くの国際コンクールの審査員にも招かれており、2016年5月より仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門審査員長に就任。2015年7月には、春秋社より著書「ヴァイオリニストの領分」を刊行。現在、ブリュッセル王立音楽院教授、マーストリヒト音楽院教授。

使用楽器は、ヨゼフ・ガッルネリ・デル・ジェス(1741年製)。

公式ホームページ：http://yuzuviolin.com/



プロフィール

中井友紀子 (ピアノ)

京都市立芸術大学音楽学部ピアノ科卒業後渡独。ドイツ国立ヴェルツブルク音楽大学・大学院演奏科ともに首席で卒業しマイスターを取得。同大学デュオのための室内楽コンクールにて優勝、第40回マルクノイキルヒェン国際器楽コンクール最優秀伴奏賞受賞、ユンディメニューイン-Live Music Now-財団のピアニストとしてメンバーに選出、2007年第6回バッハ国際ピアノコンクールにて第2位入賞。入学当時よりドイツ国内ではヴェルツブルクをはじめ、フランクフルト、パイロイト、デトモルト、インゴルシュタット、またフランスのリヨンなど各地でピアニストとして多数出演。これまでにソロを岩上千佳子、阿部裕之、神西敦子、ジルケ・トーラ・マティス各氏に師事。室内楽をセニャ・ヤンコヴィッチ、文屋充徳、ヘルマン・クレマイヤー、ヴォーチェスカルテット各氏に師事。日本に帰国後はソロ・室内楽の演奏活動、ならびに指導者として活動している。



オーケストラ

~Viel Spaß!~  3

日本センチュリー交響楽団首席オーボエ奏者 宮本 克江

オーディション

一般的に就職となると、会社説明会へ行って面接と基本的な試験を経て内定、契約となるのですが、オーケストラ奏者になるにはオーディションを受けます。

オーケストラ団員の募集は音楽大学に掲載されたり音楽情報誌などに掲載され、それを見て受験者は履歴書を送り実技試験と面接を受けます。

実技試験は一次、二次、時には三次まであります。オーディションはその楽器に空きがある時に行われるので、いつでもあるわけではありません。

弦楽器に比べて管楽器はオーケストラに必要な人数が少ないので（我がセンチュリー交響楽団の場合、木管楽器はそれぞれ2人ずつ）1名の募集に30名から多いときには60名近い応募者が来ます。相当な倍率です。

一次審査、二次審査でどんどん減らされて最後には数人となるのですが、時には一人も残らず、そのオーディションでは決まらない事もしばしばあります。どんなに素晴らしい

奏者でも、そのオーケストラの求める音色や音楽的な傾向に合わなければ選んではもらえないのです。

基本的に年齢や経験に制限は無く、大学1年生でも、音大出身で無くても、すでに他のオーケストラにいる人でも応募は出来るので、学生の間に入団する人もあります。運良く初めて受けたオーディションで合格する人もあれば、20回、30回と数え切れないほど受けた人も。

大学を卒業する頃にオーケストラの空きが無ければ、素晴らしい可能性を持つ人でもオーディションを受けたくても受けられず、プレイヤーの道を諦める場合もあります。

めでたく実技試験に合格すると次は試用期間があり、大体半年間または決められたコンサート回数の間、仕事をしつつそのオーケストラで上手く仕事をこなせるか、また性格的に他のメンバーとうまくやって行けるかなどを判断されて、ようやく入団となります。

私の場合は大学生活の後半にオーディションが続けてあったので、大変運が良かったと

言えます。良い演奏をすると、オーディションでは残念ながら落ちてその後、エキストラとして呼んでもらえる事も多く、そこでオーケストラの先輩奏者の方々からたくさん大切なことを教えて頂きました。

大阪に新しく出来たセンチュリー交響楽団のオーディションに合格したのは大学院2年生の10月。オーケストラが始動したのが12月で、卒業のための修士論文や演奏試験と重なり大変でしたが、まだ学生で何も分かっていなかったから乗り切れたのではないかと思います。

オーケストラの練習

オーケストラで仕事をしているというと、「いいですね、短い時間のお仕事で。」と言われることがあります。多分私達の仕事をコンサートのリハーサルと本番だけと思われての言葉だと思いますが、そうではないのです。

大体のオーケストラは、一回の本番のための練習が1日～3日。オペラなど長い演目の舞台の場合でも、オーケストラ練習が2日、歌合わせが2日、舞台合わせが2～3日。一週間程で仕上げます。日数や時間にすると短いですが、その前に個人で練習する時間が必要で、これが生活の大半を占めます。初めて

演奏する曲であっても一日目の練習日には一通り演奏出来るように仕上げておかねばなりません。1～3日のうちに、指揮者の指示や考え、オーケストラ全体の流れを自分達なりにまとめるので、練習が始まる前にする作業に多くの時間と労力が費やされるのです。

大きな曲を一日だけで仕上げる時などは、とにかく一日で全てに対応するために何週間も前、時には一カ月以上前から個人練習をして、様々なテンポや音楽的要求に対応すべく準備をします。

演奏家の仕事はスポーツ選手のそれと似ているところがあります。良い結果を出すために日々努力を続けてレベルを維持することが求められるからです。フィギュアスケートなど、特に心理的にも共通する部分があって、何百回、何千回と練習で成功しても一回きりの本番がすべてという所に大変共感する部分を多く感じます。

だからこそ、成功した時の達成感は何ものにも代え難く、共感してくださるお客様が多いほど、喜びと充実感を覚えます。



プロフィール 宮本 克江 (みやもと よしえ)

西脇市出身。

14歳よりオーボエを始める。京都市立芸術大学音楽学部卒業、同大学院修士課程を修了と同時に、大阪センチュリー交響楽団（現、日本センチュリー交響楽団）に入団。

1992年、ドイツ・ハノーファー音楽大学に半年間留学。オーボエを福田 光生、故・岩崎 勇、クラウス・ベッカーの各氏に師事。また、ゲルハルト・トレチュク、インゴ・ゴリツキ各氏のマスタークラスにて研鑽を積む。

1993年第10回日本管打楽器コンクール・オーボエ部門で第1位受賞。草津国際アカデミー、ドイツ・ヴォルドルフ夏期国際アカデミー、アフィニス夏の音楽祭に参加。ソリストとして、名古屋フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、日本センチュリー交響楽団と協演。

'94、'02、'03、'08にリサイタルを開催する他、滋賀県大津市にて室内楽（大津曳山コンサート）にも定期的に参加している。大津市在住。

現在、日本センチュリー交響楽団首席オーボエ奏者。



©s.yamamoto

日本センチュリー交響楽団



8月10日(土)

参加者募集!

ヴァイオリン・ワークショップ

(参加時間等の詳細は、申込締切後にお知らせします。)

第7回ヴァイオリンワークショップ 初心者歓迎

- 参加料 1,000円(当日ご持参ください)
- 対象 小学1年生～中学3年生
- 申込み 申込書に必要事項をご記入の上、7月27日(土)までにアピカホールへお申し込みください。(FAX・メール添付可)申込用紙はホームページよりダウンロードできます。



今年は夏季特別講座、弦楽アンサンブルワークショップを開催します。
詳しくはホームページをご覧ください。

初心者ヴァイオリン教室 2019年度後期教室生募集♪

開校式 後期9月7日(土) 10時～

- 【対象】 北播磨地域(西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可町)在住で、ヴァイオリンに興味のある小学1年生～中学3年生
- 【とき】 土曜日/月3回程度
- 【ところ】 西脇市立音楽ホール「アピカホール」
- 【内容】 ♪ヴァイオリンのグループレッスン
♪年に一度、Apika Junior Strings(アピカホール弦楽アンサンブル教室)とコンサートを開催します。
- 【参加料】 5,000円/月(教材費は別途必要)
ヴァイオリンを習って弦楽アンサンブルを楽しもう!
- 【申込み】 申込用紙はホームページよりダウンロードできます。
ホールまでご持参いただくか、FAX・メール添付でお申し込みください。



開催日が決定いたしました! Apika Junior Strings 第8回コンサート
2020年3月28日(土) 15時開演予定 入場無料

8月19日(月) 14時開演(13時30分開場)

第9回 蓄音器で味わう名曲シリーズ

～こどもたちに歌い継ぎたい童謡・唱歌・民謡～ 入場料 500円(駐車場代別途)

快適さと機能性を追求した住空間



住設機器、建築資材、機械工具、省エネ商品

株式会社 藤田幸三商店 西脇市高松町633-18 TEL.0795-23-5995 FAX.0795-23-6564

総合建設業 一級建築士事務所
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者



WAKI CONSTRUCTION CO.,LTD.



〒677-0018 西脇市富田町36

電話 0795-22-5651(代)

8月～9月の催し♪

8月24日(土) 第23回「リトルピアニストの大きなコンサート」

入場料無料(駐車場代別途)

午前の部…10時開演 午後の部…13時30分開演(予定)

アピカホールでは、「スタインウェイ」という世界でも最高のピアノを皆さんに弾いていただくため、今回で23回目となるコンサートを開催いたします。“演奏家の卵”たちがこれからも音楽に興味を持ち続けることを期待し、また自分の演奏だけではなく、他の出演者の演奏を聴くマナーを身につけることも趣旨として開館当初から続いているコンサートです。

今回も55人のリトルピアニストたちが、日ごろの練習の成果を発表します。ホールにお越しいただきあたたかい声援をお願い致します。

8月31日(土) 第7回「弘中孝とみんなのピアノ・デュオ・コンサート」

入場料/1,000円(当日券同額)

♪出演者♪

3年に1度開催しています「弘中孝とみんなのピアノ・デュオ・コンサート」。
今回は11名の子どもと一般の方1名が弘中先生と連弾をします。

きまた ほの か
木俣穂乃花
(小1)やまぐち の あ
山口 乃亜
(小2)かんざわ はるか
神澤 晴香
(小3)やまだ あみ
山田 愛実
(小4)うちし あおい
内橋 葵
(小5)むらかみ かずま
村上 主真
(小5)みずたに そうた
水谷 颯汰
(小6)すえよし ななほ
末吉 七彩
(中1)うえだ めい
上田 芽生
(中2)くわはら みのり
桑島 穰里
(中2)たつか あおい
達可 葵衣
(中2)やまぐち ひろこ
山口 寛子
(一般)

9月29日(日)

14時開演(13時30分開場)

ふるさとゆかりの演奏家シリーズ

「ドミトリー・デミアシキン/
生田敦子・恵子<DuoA&K>」

入場料 一般 2,000円

高校生以下 1,000円

会議・セミナー・展示会・パーティ・同窓会 承ります

西脇ロイヤルホテル

Daiwa House Group®

〒677-0015 西脇市西脇 991
TEL.0795-23-2000 FAX.0795-23-8604

詳しくはオフィシャルホームページで
▶▶▶ <http://www.nishiwaki-royalhotel.jp> 西脇ロイヤルホテル 検索

音楽の 話・輪・和・Wa

本物の音楽を

高田 政和

皆さんは西脇からNHK紅白歌合戦に出演したアーティストが2人いることをご存じですか？一人はウルフルズのトータス松本さんです。あと一人は人気のバンドPumpkin(フランパール)のドラム小倉誠司さんです。

彼ら2人には共通点があります。それは今は無きサウンドサークルのスタジオで練習していたことです。私は丁度10年前までそのサウンドサークルを経営していました。レコード楽器店を始めたのは私の父の代からで、今の商工会議所の駐車場

の所に建っていた伝説のデパート「マルエー」の2階で開店しておりました。その後野村町しわざくら通りで1階がレコード楽器オーディオ、2階が練習スタジオという形態で営んでおりました。時代の流れで、音楽を聴く方法は、レコード→CD→スマホに。買い方もレンタルが加わり、今はダウンロードへとひろがってきました。この前、神戸新聞にCDの売り上げが最盛期の半分以下になり、音楽はダウンロード、定額制が主流になってきた、という記事が載っていました。私は10年前に営業を断念してしましました。街のレコード屋さんの役目は終わってしまったのかもしれません。

今はスマホから流れてくる音楽が主流となってきましたが、スマホのスピーカーから流れてくる音は本当にスカスカです。これからはこういう時代になるだけに、返って本物の音を楽しむ時が来ると思います。

西脇にはアピカホールという素晴らしい音楽ホールがあります。生の楽器を生音で楽しませてくれる素晴らしいホールです。スマホの時代だからこそアピカホールのような生の音を楽しませてくれるホールが必要です。そして良いコンサートがあれば足を運んでほしいと思います。手段は変われど本物の音楽は無くなりません。

(西脇市在住)

編集後記

令和になり、最初のボナンタゴンです。

ところで、あなたはCDを買う派？それとも借りる派？

CDが販売枚数でLPを追い抜いたのが昭和の終わりの頃です。平成になるとCDが主流になりました。音楽を聴く環境もここ数年でおおきく変わってきましたね。令和の時代には更にどのように変化していくことでしょう。

でもコンサートのライブ感は変わっていません。生演奏で音楽を五感で感じとることができるのはすごいところです。アーティストを生で見えて聴いて、時にはサインもらったりして、ゆったりしたシートに座りわくわく出来たら最高ですね！(green)

西脇市 岡之山美術館

TEL.0795-23-6223

●「アトリエ絵手紙」展

花をテーマにした絵手紙を展示。

7月9日(火)～21日(日)

●アトリエ個展シリーズ

個性豊かなアートシーンを展開している作家の個展シリーズ

VOL.1 ●「角間 好」展(絵画)

8月6日(火)～25日(日)

VOL.2 ●「廣田美乃」展(絵画)

8月27日(火)～9月16日(月・祝)

VOL.3 ●「南野佳英」展(立体)

9月18日(水)～10月6日(日)

VOL.4 ●「高安 醇」展(絵画)

10月8日(火)～27日(日)

VOL.5 ●「石野善浩」展(絵画)

10月29日(火)～11月17日(日)

●「アトリエ星」展(仮称)

星をテーマにしたグループ展。

11月19日(火)～12月1日(日)

※アトリエ入館無料

※各会期の最終日は午後3時まで。

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>
ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。
ブログ「美術館日記」もご訪問ください。

●本館ギャラリー

第16回企画展「花とアート」展 ～7月21日(日)

第17回企画展「星とアート」展 8月4日(日)～12月1日(日)

星空を彩るイメージの付まいに注目し、
天空の星を作品のテーマに据えた多彩な
作品を一堂に紹介します。



中山明日香「eruption」[撮影:上野則宏]

開館時間 午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)

入館料 大人310円(260円)、高・大学生210円(160円)、
小・中学生110円(80円)

※()内20名以上団体割引料金

※障がい者割引有、ココロカード利用可

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日

※8月13日(火)は臨時開館

西脇市民会館

TEL.0795-22-5715

休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)

きて☆みて☆きいて!

第21回

「あなたが主役フェスティバル」

ステージ発表・NSKのど自慢・100金遊び市
手づくり趣味の市

日時 2019年7月14日(日) 10:00～15:30

内容 ◇ステージ発表(10:00～) 入場無料
◇NSKのど自慢(13:00～) 入場無料
◇100金遊び市(10:00～) 遊び券1枚100円
◇手づくり趣味の市(10:00～) 展示販売

会場 大ホール・中ホール・第一会議室・ロビー等



アピカホール 催しガイド 7月~10月

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日)

月/日(曜日)	催 物 内 容	時 間	入 場 料 等	主 催 ・ 問 合 せ	特 集 記 事
7/14(日)	きて☆みて☆きて! 第21回「あなたが主役フェスティバル」	会場：西脇市民会館 10:00~15:30	大・中ホール 無料 そ の 他 有料	市民企画委員会[0] 西脇市民会館 ☎0795-22-5715	P11
7/20(土)	第143回 しばざくらコンサート 清水和音ピアノリサイタル	14:00開演 (13:30開場)	一 般 3,000円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P2・3
7/21(日)	第144回 しばざくらコンサート 堀米ゆず子ヴァイオリンリサイタル	14:00開演 (13:30開場)	一 般 3,000円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P4・5
7/27(土) 8/3(土) 7/10(土) 7/11(日) 7/12(月・休)	アピカホール弦楽アンサンブル教室関連事業 夏季特別講座 弦楽アンサンブルワークショップ ※12日は15:00よりミニコンサート開催予定 入場無料	7/27(土) 9:00~12:00 ※他の日は人数により決定	参加費 15,000円 /5日	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
8/4(日)	ピアノ発表会	10:30~	無料	藤原小織	
8/10(土)	ヴァイオリン・ワークショップ	未定	参加料 1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
8/19(月)	第9回蓄音器で味わう名曲シリーズ ~こどもたちに歌い継ぎたい童謡・唱歌・民謡~	14:00開演 (13:30開場)	500円 (駐車場代別途)	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
8/24(土)	第23回 「リトルピアニストの大っきなコンサート」	午前の部 10:00 午後の部 13:30 (予定)	無 料	アピカホール ☎0795-23-9000	P9
8/31(土)	第7回 「弘中孝とみんなのピアノ・デュオ・コンサート」	14:00開演 (13:30開場)	1,000円 当日券同額	アピカホール ☎0795-23-9000	P9
9/8(日)	第13回 熱唱!カラオケ祭り! 出演者募集中※8月末締切 参加費:フルコース7,000円・2コース6,000円(弁当代込)	10:00~17:00	300円(小学生以下無料) 弁当代1,500円 ※要予約	西脇ロイヤルホテル ☎0795-23-2000	
9/10(火)	ライオンズクラブ国際協会335D地区 3R2Z合同例会ガバナー公式訪問	13:00~	関係者	西脇ライオンズクラブ ☎0795-25-0711	
9/29(日)	ふるさとゆかりの演奏家シリーズ 「ドミトリー・デミアシキン 生田敦子・恵子<DuoA&K>」	14:00開演 (13:30開場)	一 般 2,000円 高校生以下 1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P9
10/1(火)	西脇納税協会設立70周年記念 講演会&落語	15:00開演 (14:15開場)	無料 (要駐車場代)	西脇納税協会 ☎0795-22-2842	
10/5(土)	クラリネットコンサート ~浜中浩一先生七回忌によせて~	14:00開演 (13:30開場)	一般前売 1,500円 当日 2,000円 高校生以下 1,000円	高瀬喜久美 ☎0795-22-8129	

★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。



交通アクセス

<バス>中国ハイウェイバス西脇営業所行き

「西脇」下車すぐ。

三ノ宮~西脇線(神姫)「西脇」下車すぐ。

<鉄道>JR加古川線「西脇駅」より徒歩約20分。

<車>中国自動車道 滝野社ICより国道175号線
を北へ約15分。

■編集：ポナンタゴン編集委員会
■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」
ポナンタゴン：こんにちは
(エスペラント語)

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991
TEL(0795)23-9000 FAX(0795)23-9031
http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/
E-mail: apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2019年5月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。

アピカホール ポナンタゴン 検索 ホームページでもご覧いただけます。